

進化する医療機器



院長 大塚 慎一

院内誌19号をお届けします。

昨年6月に、網膜硝子体が専門の今木先生が着任され、医療の質のさらなるレベルアップを図るために、平成28年度は、検査や手術に必要な最新の医療機器を導入しました。

細隙灯顕微鏡『ハーグストレイト・ゴールドマンスリットランプ』、前眼部OCT『CASIA2』、手術顕微鏡『Zeiss OPMI Lumera700』、ハイデルベルグ 網膜血管造影装置『HRA』などです。

今年3月に導入したHRAは網膜と脈絡膜の血管を同時に造影することができます。特に加齢黄斑変性（AMD）の大半を占めるポリープ状脈絡膜血管症（PCV）のポリープ状病巣（写真1,2）を描出するのに優れた眼底撮影装置です。

HRAの導入によりAMDのタイプ別病型診断が容易となりAMDの治療に格段の向上が期待できます。

眼科における最近の医療機器の発展・進化は革命的と表現されるほど目覚しく、3～5年サイクルで最新の医療機器が登場してきています。

以前は何ら治療法がなかった加齢黄斑変性も現在では視力の改善が見込めるようになりました。また緑内障は、症状が出る前の段階を見つけることができるようになりました。そして重症の増殖糖尿病網膜症も治せるようになりました。これらはすべて医療機器の進化のおかげです。

私達はこれらをうまく駆使して患者様の大切な眼を守るために、日々努力していきたいと思います。

院長 大塚 慎一 記

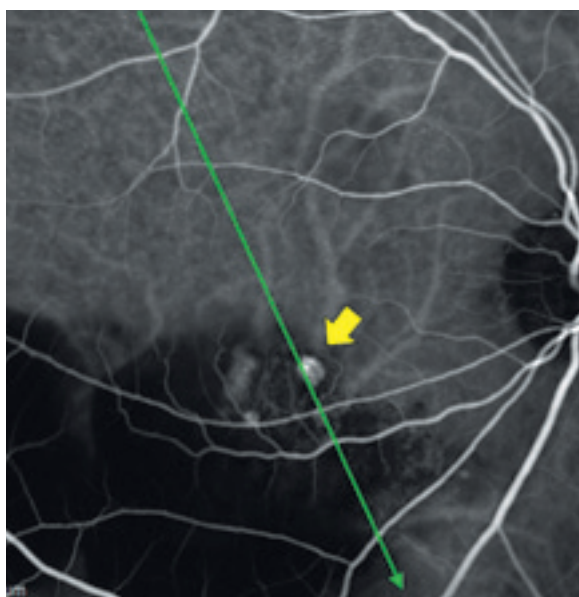


写真1. HRAによる蛍光眼底造影像(ICG)

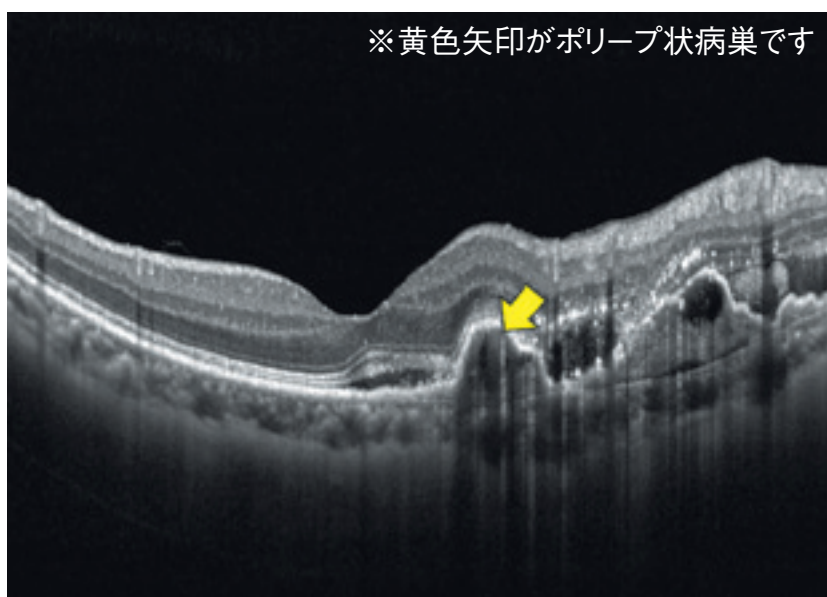


写真2. OCT断層像(写真1の緑矢印)

第3回 眼科スタッフカンファランス（GSC）

2017年3月25日（土）

第3回GSCが三好眼科（広島県福山市）で開催されました。

当院の視能訓練士 高山、永友が発表しました。



〈本人のコメント〉 永友

スタッフの方々の協力、指導により初めての発表が無事に終わり、今はほっとしています。前眼部OCTという普段使用している機器の新しい使い方を調べ、また他の演者の方々の発表を聞き、大変勉強になりました。今後はこの経験を活かして患者様の検査に携われるように頑張りたいと思います。

〈本人のコメント〉 高山

今回、発表者として参加しました。学会での発表は初めてで、とても緊張しましたが大変貴重な経験になりました。専門分野の勉強や口頭発表の練習など、発表の準備を通し、多くの勉強する機会を得ることが出来てとても感謝しています。今回の学んだことを患者さんの役に立てるようにしていきたいです。

『眼と宇宙』の院内講演がありました

2017年1月21日（土）

宇宙医学教室のある日本大学の篠島先生をお招きし、院内で講演をしていただきました。

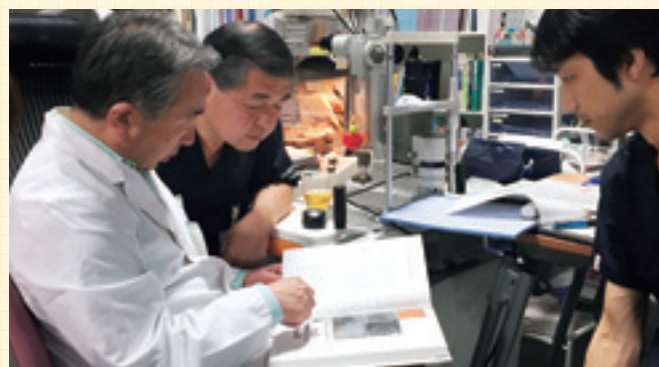
宇宙飛行士に起こるVIIP（Vision Impairment & Intracranial Pressure）という目の症状や、脈絡膜についてお話いただきました。名古屋市立大 眼科教授の小椋先生も参加されました。



加齢黄斑変性(AMD)の症例検討会が行われました

2017年3月18日（土）

東京女子医大 眼科教授の飯田先生をお招きし、AMDの症例検討会を行いました。当院にかかっている患者様の診断や今後の治療について助言をいただきました。

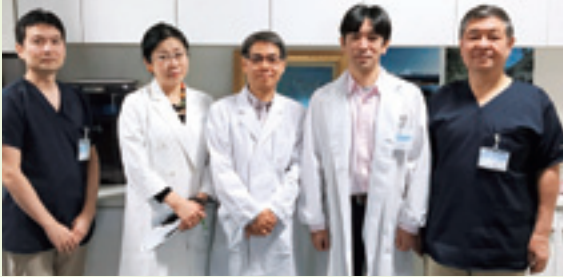




横浜から2名の先生が見学に来院されました

2017年2月25日（土）

横浜で開業されている、稲村先生（国内トップレベルの白内障術者）と新藤先生が、当院の設計やシステムを自院に導入する目的で来られました。



当日、眼瞼の手術に来られた渡辺先生（京都府立医科大学）と一緒に記念撮影



講演発表

〈本人のコメント〉視能訓練士 後藤

2月の講演では、医師の求める検査データとはなにか？そのためのOCT撮影テクニックとは？という2つのポイントを講演タイトルにしたので、眼科医とスタッフが一緒に参加されている施設がとても多く、特殊検査（OCT：光干渉断層計）に関する意識の高まりを感じました。

スタッフが行う検査は重要所見を撮影するだけでなく、不安を抱えた患者様や家族の気持ちを考え、安心して検査を受けて頂くことも大切です。わかりやすい説明も検査の一部であり、患者様のためにできることだと感じます。

1/29 (日)	第40回日本眼科手術学会 ORTセッション 愛媛大学眼科准教授 溝上志朗先生と座長
2/18 (土)	第19回長野県眼科学術講演会（40分） 講演『医師の診断に役立つOCT撮影テクニック』 ～患者様のためにORTとしてできること～
3/11 (土)	第2回Zeiss Angio Plex User Group Meeting in TOKYO（40分） 講演『良質なOCT・OCTA画像を得るためのコツ』

平成29年 当院の学会参加一覧〈1月～4月〉

1/21(土)	大分糖尿病眼合併症セミナー（大分）	3名
1/27(金)～29(日)	日本眼科手術学会（東京）	3名
2/18(土)	大分大学眼科研究会（大分）	3名
2/18(土)	長野県眼科学術講演会（長野）	1名
3/4(土)	大分網膜疾患セミナー（大分）	2名
3/11(土)	おっしょい眼科手術の会（福岡）	4名

3/11(土)	Zeiss Angio Plex User Group Meeting in Tokyo（東京）	1名
3/25(土)	眼科スタッフカンファランス（広島）	8名
3/25(土)	豊の国眼科フォーラム（大分）	3名
4/6(木)～9(日)	日本眼科学会総会（東京）	2名
4/15(土)～16(日)	生涯教育講座（福岡）	8名

各専門医日程

当院では全国より各分野の専門の先生を招いて診察や手術を行っています。専門医診察・手術は早い時期で予約が埋まってきますので、診察や手術をご希望の方は、スタッフまでご連絡ください。

5月	9日(火)	5月	26日(金)	6月	10日(土)	7月	15日(土)	7月	29日(土)
	眼瞼手術		緑内障専門外来		眼瞼手術		硝子体手術		眼瞼手術
	(横浜) 岡田眼科 副院長 宮田先生		愛媛大学 准教授 溝上先生		京都府立医科大学 渡辺先生		横浜市立大学 教授 門之園先生		京都府立医科大学 渡辺先生
	20日(土)	6月	2日(金)	6月	24(土)	7月	15日(土)	8月	19日(土)
	涙道内視鏡手術		硝子体手術		感染症外来		眼瞼手術		硝子体手術
	(岡山) すずもと眼科 院長 杉本先生		東京女子医科大学 教授 飯田先生		(愛媛) いしづち眼科 院長 鈴木先生		(横浜) 岡田眼科 副院長 宮田先生		大阪労災病院 副院長 恵美先生
	20日(土)	7月	9日(金)	7月	15日(土)	8月	28日(金)～29日(土)	8月	26日(土)
	眼瞼手術		白内障手術		緑内障手術		緑内障専門外来		眼瞼手術
	京都府立医科大学 渡辺先生		(東京) 井上眼科病院副 院長 徳田先生		東京大学 教授 相原先生		愛媛大学 准教授 溝上先生		京都府立医科大学 渡辺先生

新 入 社 員 紹 介



(検査)河内

2月から勤務させて頂いて
います河内です。

以前は北九州の眼科に6年
間勤めており去年、夫の転勤
で大分に転居して参りました。

当院でも患者様一人一人の
気持ちに寄り添い、笑顔で応
対できるよう努力いたします。

そして患者様の満足向上を考え、病院の信頼と
明るい雰囲気を守る為、頑張りますので宜しくお
願い致します。



(受付)手嶋

2月から受付事務として勤務
させて頂いています手嶋です。

先輩方のように明るく丁寧
に患者様に安心していただける
ような対応を心掛け、少し
でも早く仕事を覚え実務を身
につけられるようこれからも
頑張りますので、よろしくお
願い致します。

診療時間の案内

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ~ 12:30 ※受付は 7:30~12:00	大塚 今木	大塚 今木	大塚 今木	大塚 今木	大塚 今木	大塚 今木/中野
午後 14:00 ~ 18:00 ※受付は 12:00~17:00	大塚	中野	今木 中野	午後 休診	今木 野田(予約制)	午後 休診
手術 (午後)	白内障	白内障 硝子体	白内障	—	翼状片 眼瞼 緑内障	注1

注1 専門医による硝子体手術・眼瞼手術・涙道手術を随時行っています。

※コンタクトレンズの作製は、予約制となっております。

事前に電話にて御予約をお願い致します。

本を出版しました

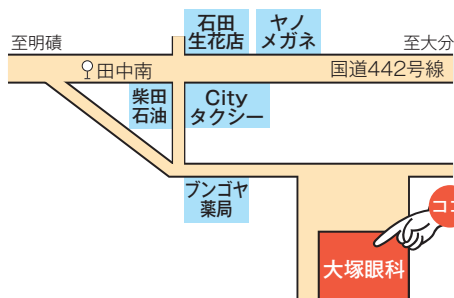
当院の視能訓練士 後藤が「うまい眼底
画像を撮るためのテクニック」という本を出版
しました。東京女子医
大 飯田教授とともに編
集者として表紙に名前
が載りました。



ホームページ紹介



大塚眼科のホームページには院長の
挨拶をはじめ、診療時間の案内・手術
案内や、交通アクセスなどが掲載され
ています。



広報部編集委員

井上
氏川
野崎
小野
本幡

大分市 大塚眼科

検索

インターネットにて検索してみてください

ケータイはこちら

大塚眼科モバイルサイト

